

磐梯山登山（鶴ヶ城～五色沼）

記録 SA/HS

実施日 : 10月28日（水） 曇り時々小雨

コース : 横浜、川崎出発6:30→会津若松1C着11:30→田事（昼食）
11:40/12:10→鶴ヶ城見学12:25/13:30→會津藩校日新館見学
13:40/14:20→国民宿舎15:30→磐梯高原～五色沼散策15:45/
16:50→国民宿舎戻り17:05

参加者 : (L) TS、(SL) MS、YN、SA、YY、FI、CO、HS、MK、MS（10名）

横浜と川崎から5人ずつ乗車し夫々6時半に出発し蓮田SAで合流した。途中阿武隈SAで2度目の休憩をし、会津若松1Cに11時半頃到着し昼食会場へ直行、市内でも老舗の店らしく囲炉裏のある部屋で、郷土料理の説明を受けながら美味しく頂く贅沢な昼食を。（わっぱ飯、鯨の山椒漬け、祝いの席にでるこづゆ等）



法事や宴会などに利用されている会津市内でも老舗の店らしい風雅な雰囲気を感じさせる料理旅館田事（たごと）

田事で贅沢な昼食を頂いた後は鶴ヶ城に向かう



鶴ヶ城のお堀越に廊下橋を望む
朱塗りの廊下橋を渡って天守閣に向かう



廊下橋から本丸の石垣越しに天守閣がちらりと見える



本丸の石垣とお堀



雄大な天守閣

天守閣館内を見学。展望台からは市内が一望できた。鶴ヶ城の築城や会津若松市の産業を築いたのは蒲生氏郷でその功績は大きい。その後、会津の歴史は幕末の戊辰戦争によって広く知られることとなった。(SA と HS は高校時代の3年間、通学路として毎朝一緒に通ったものです。)



天守閣をバックに集合写真

鶴ヶ城の後は会津藩校日新館に向かう。



会津藩校日新館 正面の大成殿を望む

日新館は武士階級の学問と教練の教育の場として江戸時代中期に出来、その教えの一部は現代にも通用する道徳として引き継がれている。(元の場所はお城の近くにあった。) 白虎隊の少年達も勉学はもちろんの事「ならぬことはならぬ」の精神を学び、未来に夢をはせていた。



会津藩校日新館
大成殿内の孔子廟

40分程日新館を見学した後、五色沼へ向かう。五色沼は磐梯山の噴火によってできた桧原湖の南東にある湖沼群の総称。桧原湖近くの散策路から紅葉を眺めながら、それぞれの沼の特徴などの案内版を読み、落ち葉を踏みしめながら散策を楽しんだ。



五色沼 沼名不詳 沼越しに磐梯山を望む



赤沼

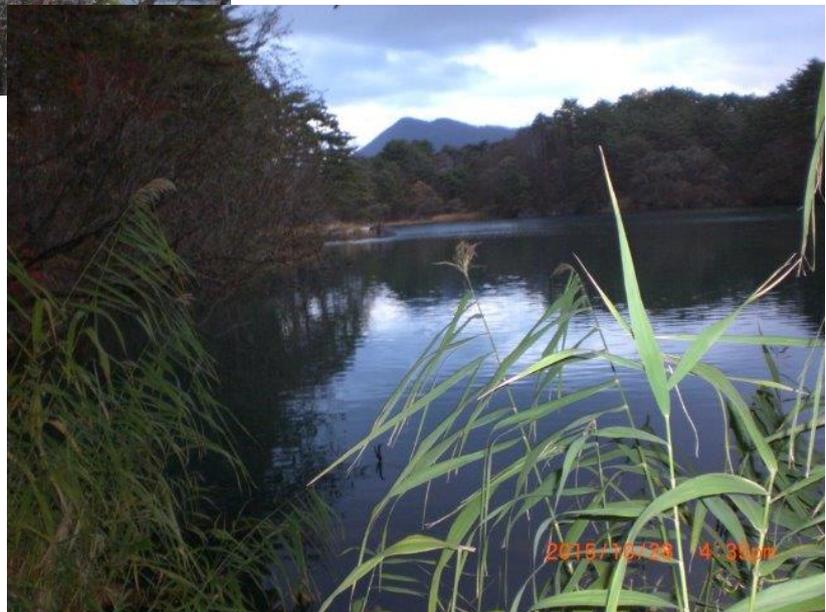


毘沙門沼



毘沙門沼

磐梯山をバックに夕闇迫る
毘沙門沼



五色沼周辺には青沼、瑠璃沼、弁天沼、みどろ沼、赤沼、毘沙門沼等、天候が良ければ各沼の水の色が違って見えることから五色沼の名が付いた。裏磐梯の散策コースの中でも一番の人気コースで中国人観光客も歩いていた。一時間程歩き宿舎に戻り、早速入浴後18時から宴会となった。



宿舎での楽しい宴会

2次会は MK さん差し入れの高級焼酎と HS さんの甥子さんが差し入れたくれた鯉漬けなどを頂きながら9時頃お開き。

明日の天気が気がかりながら早々に就寝しました。